



第九十四回
 〈新型コロナウイルスエ
 ンザと集会・行事
 の自粛〉

今年の冬には新型インフル
 エンザの第二波が日本中を襲
 うかもしれない。そのために
 適切な対策を準備する必要が
 ある。それと同時に、効果の
 期待できない対策は中止しな
 ければならない。

先日、興味深い相談が持ち
 込まれた。新型インフルエン
 ザ集団感染のあった高校の校
 医からの相談である。その高
 校は1週間の学校閉鎖をした
 が、閉鎖期間中に全国規模の
 体育大会に生徒を出場させて
 もよいかという相談だった。
 いわゆる「自粛」の問題である。
 これに関連して「新型インフ
 ルエンザA(H1N1)感染に関
 連した大規模集会のための
 CDC暫定ガイドランス」(<http://www.cdc.gov/h1n1flu/guidance/public-gatherings.htm>)を紹介した。

このガイドランスでは、大規
 模集会とは「多くの人々が一
 カ所に集まること」としてお
 り、大学の卒業式、礼拝式、
 スポーツ大会、コンサート、
 社会的および文化的祝賀会、
 結婚式、会議などが含まれる。
 大規模集会は出席者の数や集
 会が室内で行われるのか室外

かを区別しない。というのは、
 新型インフルエンザの伝播パ
 ターンが室内か室外かでどの
 ように異なるかは知られてい
 ないからである。


混雑した状況では、社会的
 距離の維持(人と人の距離を保
 て濃厚接触を減らす方法)は困難
 である。さらに、祝賀(結婚式
 卒業記念式)などで、参加者は
 社会的・個人的接触(握手や抱擁
 をしてしまう)。その結果、出
 席者間で新型インフルエンザ
 が拡散し、さらに参加者が戻
 った地域にも流行が引き起こ
 されるかもしれない。したが
 って、CDCは地域でのインフ
 ルエンザの拡散を減らすため
 に下記の勧告をすることとし
 た。

- ①インフルエンザ様症状(発熱
 +咳または咽頭痛)のある人
 は、発症後7日間、もしくは
 症状消失後少なくとも24
 時間のどちらか長い方の期
 間、自宅待機する。
- ②**新型コロナウイルス合併症
 のハイリスクの人々(特定の
 慢性疾患の人、5歳未満の小児、
 65歳以上の人、妊婦など)は流
 行地域での大規模集会に出**

- ③すべての人々は咳エチケット
 と手洗いをする。
- ④医療施設以外においては、
 新型インフルエンザ様症状
 のある人々に頻回に曝露し
 ない状況でのマスクの装着
 は推奨しない。

大規模集会は、公衆衛生担
 当者やイベント主催者が参加
 者に「新型コロナウイルスの
 拡散を減らすための方法につ
 いての重要な教育的メッセー
 ジ」を配信するチャンスを与
 えてくれる。イベント主催者
 は、症状があれば自宅待機す
 ること、イベントの期間は十
 分な手指衛生をすることを参
 加者に連絡すべきである。そ
 のような情報は手紙、新聞、
 公共告示、ウェブなどのさま
 ざまな方法で連絡できる。も
 ちろん、主催者は石けんと流
 水を備えた手洗い施設を広く
 準備し、インフルエンザ様症
 状のある人々をその場で医学
 的に評価してケアする努力を
 しなければならない。
 話が元に戻るが、今まで頑

プロフィール



やの・くにお
 県西部浜松医療
 センター 副院長 兼
 感染症科長
 「ねころんで読め
 る CDC ガイドラ
 イン (メディカ出
 版)」等、CDC 関
 連の編・訳書多数。
 ●今月の矢野編集長
 「ねころんで~」の第2弾が順調である。その
 ため、第3弾の作成を予定している。もう一
 つ工夫したものを執筆したい。集団感染など!

張ってきた高校生が、無症状
 にもかかわらず大会欠席とい
 うのはあまりにも気の毒であ
 る。確かに、スペインかぜの
 経験から、感染拡大防止には
 広域的な学校閉鎖などの措置
 が絶対必要という風潮が強い
 が、その効果についての科学
 的検証はない。大規模集会の
 自粛は感染者の差別を招く上
 に、その社会的影響も大きい。
 このままの風潮で冬に入ると、
 年末年始の行事や高校や大学
 の入学試験、学会開催はどう
 なるのか?
 「大規模集会を新型インフル
 エンザ対策の啓発のための大
 きな機会と認識する」「集会参
 加を控えるのは無症状の元気
 な人々ではなく、新型インフ
 ルエンザに罹患した時の合併
 症ハイリスクの人々である」と
 するのがCDCの考え方である。

*本記事は、病院感染対策の総合専門誌「INFECTION CONTROL」誌 (メディカ出版) 最新号に掲載予定のものです。
 状況を考慮し、速報としてwebにて掲載しています。
 *本記事の無断引用・転載を禁じます。
 INFECTION CONTROL 2009 vol.18 no.10